



【第84号】

発行日 平成29年9月30日
 発行者 更生保護法人 青森県更生保護協会
 青森県保護司会連合会
 青森市長島1-3-25
 電話 017(776) 6419



【雲谷高原ヒルズ・コスモスマツリ・青森市】 コスモスマート「鳥」
 雲谷高原一面に広がるコスモス畑の中で、コスモス迷路やコスモスシルエットアートが楽しめます。開催期間/毎年9月中旬～下旬

アルコール・薬物・ギャンブルなどの依存症者とその家族への治療と支援

青森県立精神保健福祉センター
 所長 田 中 治

昨今、薬物依存等に関する法制度の整備と改革がすすみ、多くの法律が制定されました。

2013年3月に、厚生労働省は「依存症者に対する医療及びその回復支援に関する検討会報告書」を作成し、①本人および家族の相談できる体制の整備、②医療機関、行政、自助団体の連携体制の整備、③地域における医療を受けられる体制の整備、④回復プログラムの整備、⑤本人と家族への支援体制の整備が明記され、依存症への具体的指針が示されました。

また、国会において2013年6月に、薬物使用などの罪を犯した者に対して執行猶予中に保護観察に付すことができる「薬物使用等の罪を犯した者に対する刑の一部執行猶予に関する法律」、同年12月には、アルコール依存症その他の不適切な飲酒の影響による心身の健康障害に対する対策の推進を目的とした「アルコール健康障害対策基本法」、さらに同年12月には、カジノ施設を含む特定複合観光施設区域の整備の推進をはかるための「特定複合観光施設区域の整備の推進に関する法律」が成立し、今後のアルコール、薬物およびギャンブルなどの依存症に対する総合的・複合的対策が作られてきました。

これらの法制度の整備に加え、依存症治療の現場では、多くの精神療法のメソッドが開発され、臨床への応用がすすんできました。アルコール使用者に対するコミュニティ強化アプローチ、薬物使用者に対するSMARPP療法、ギャンブル依存者に対する認知行動療法プログラム、性依存者への認知行動療法、さらには依存症者の家族支援のためのCRAFT療法が開発され、私達もこれらの手法を用いながら、治療と支援に幅を持たすことが可能になってきました。

これらの精神療法の開発の裏には、依存症者の心理過程が解明されたことが大きく寄与していると考えられますが、「依存症は自らの苦痛を自己治療するための究極の選択」との理論を提唱したE. J. カンツイアンらの自己治療仮説の影響が大きいと考えられます。

これらの治療と支援の方法を用いながら、今後、当精神保健福祉センターは、依存症者とその家族への治療と支援を進めて参りますので、何卒皆様のご支援のほどお願い申し上げます。



所在地 / 青森市三内字沢部 353-92 (つくしが丘病院となり)
 TEL 017-787-3951

予告 第39回青森県更生保護 八戸大会

期日/平成29年11月14日(火)
 会場/八戸市公会堂



毎年開催する事となりました、県更生保護大会は「世界一安全な国、日本」を実現するため、再犯防止の重要性が強く求められている中、更生保護関係団体が一堂に会して式典、顕彰、意識の統一と士気高揚を図り、犯罪や非行のない明るい社会の実現に寄与しようとするものです。



写真は合成です。

各地区独自の企画で地域の力を發揮
社会を明るくする運動は、犯罪や非行のない地域をつくるために、一人ひとりが考え、参加するきっかけをつくることを目指した全国的な運動で、今年で67回目となりました。

県内各地区でも祭りやイベントに参加などの街頭活動、ポスターの掲示、のぼりを設置するなど地域性を生かした活動に協力いたしました。



青森市PTA連合会ねぶた祭りに「おかえり」の横幕を掲示、沿道の人にもどさないのうちわを配布するなど広報活動を開催しました。

昨年、全国で実施された「おえかきホゴちゃん」。今年も青森矯正展で開催しました。途中で用紙が足りなくなってしまうほど盛況だつたため、今年はレイアウトも「おえかきホゴちゃん」としたものに変更し、心地よいものになりました。



第67回 社会を明るくする運動

～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～



各地区独自の企画で地域の力を發揮

青森刑務所
青森保護観察所

子ども連れの家族に更生保護のPR

青森矯正展

第67回 社会を明るくする運動

南黒地区

主要な場所に社明のぼりを掲げての理解と周知

構成市町村の公用車(交通安全指導車等)にマグネット式の啓発標語を貼り付け、録音テープによる社明広報活動を7年間継続して実施しています。

内閣総理大臣メッセージ伝達は、構成市町村長の絶大な支援と信頼を受け、地道にしっかりと活動を実施できていることは、大変有難いことだと受け止めています。



社明運動の期間中、各支部では主要な場所に社明のぼり旗を掲げ、運動の理解と周知を図っています。

黒石支部では、市内中学校のJUMPチームや生徒会の協力を受け、登校する生徒に社明ティッシュの配布や挨拶運動を行っています。そのほか、関係町村の防犯パレードなどにも積極的に参加、社明活動への協力と理解を深めるために活動しています。また、地区更生保護女性会黒石支部では、くろいし夜店祭りで啓発活動のためのティッシュ配布を実施しています。



むつ下北地区

第67回社会を明るくする運動・ 第38回下北一周愛のキャラバン

7月3日 むつ来さまい館で伝達式・出発式 7月4日 大間中学校に於いて伝達式



むつ中学校吹奏学部の演奏会…3曲



式後パレード先導
…沿道の市民が少なく残念



大間中学校吹奏楽部の演奏 生徒会の「安全の日」の取組・全校合唱発表

青森地区

公立大生が中学生にインターネットの講演を、 青森市長と街頭広報活動、青森ねぶたにも参加



7月6日、造道中学校で「インターネットとの関わり合い方」を講演する県警サイバー防犯ボランティアの青森公立大学生



7月8日、デパート前街頭で社明グッズ(うちわ・ティッシュ・チラシ)と黄色い羽根を配布(写真中央・小野寺青森市長)



8月4日青森ねぶたまつり(青森市PTA連合会ねぶた)で社明グッズを沿道の観客に配布。青森県保護司会連合会・青森地区保護司会・青森保護観察所が参加。

スーパーで街頭運動 野外ステージで伝達式 防災無線で呼びかけ国道沿いにのぼり旗設置 トーク＆ライブの開催など支部毎に活動

当地区には5町村支部があります。

七戸町支部は、町長へのメッセージ伝達式や各地区毎にのぼり旗を組み立て設置場所へ移動、その後、スーパー等で街頭運動を実施。東北町支部は、役場本庁舎駐車場にのぼり旗、入口には懸垂幕を設置。夏まつり冒頭には上北町駅前の野外ステージでメッセージ伝達式。また「社明運動ミニ集会」も実施。

横浜町支部は、役場応接室において町長へのメッセージ伝達式。役場防災無線で「社明運動」の呼びかけを実施。六ヶ所村支部は、村長室においてのメッセージ伝達式。役場庁舎への垂れ幕や周辺国道238号沿いに「のぼり旗」の設置作業を実施。野辺地町支部は、朝の挨拶おはよう声かけ運動。野辺地中学校でメッセージ伝達式（松橋所長・天内会長より町長へ伝達）と「松尾貴臣 こころざしトーク＆ライブ」を実施……今年も支部毎に活動を展開しました。



平川, 大鰐, 碓ヶ関で地域の力で社明を呼びかけ

6月29日朝9時から「社会を明るくする運動」のぼり旗を8ヶ所に更生保護女性会と共に設置。午後は平川市長と大鰐町長に総理大臣と青森県知事メッセージを伝達しました。

平川地区駅前及び柏木農業高校生徒玄関前キャンペーン活動は、平川市健全育成市民会議や平川地区更生保護女性会、民生委員らと7月1日朝に実施。大鰐地区は3日にJR大鰐や弘南大鰐等4カ所で大鰐地区更生保護女性会とともに実施しました。

学校訪問は、6日9時から平川市役所内で出発式後、小中学校13校と高校2校を4班に分かれて訪問。また、碓ヶ関支部は独自に碓ヶ関中学校と連携し、全校生徒45名を対象に薬物乱用防止教室を開催しました。

大鰐地区は、7月11日に大鰐中学校体育館で大鰐中学校全生徒や各種団体等約300名参加し、町民総決起大会を開催。その後、町内街頭パレードで「犯罪のない明るい社会」にするよう町民に呼びかけました。



「安心で・安全な地域社会を築くために」 五所川原地区保護司会 中泊分会

私たち中泊分会では、第67回社会を明るくする運動月間中の7月3日に、更生保護女性会々員を含め32名による、町内巡回パレードを実施しました。巡回に先立ち役場庁舎前に於いて、濱館町長・米塚教育長に対し保護司から、総理大臣と県知事からのメッセージを読み上げて伝達しました。町長からは「安心・安全な町にしていくため、皆さんの活動はとても重要です。今後共ご協力お願いします。」との激励の言葉を戴きました。その後、社明ポスターを掲示したバスで小学校4校・中学校2校・高校1校・協力雇用主3事業所・役場支所を訪問、メッセージと社明啓発物品



を配布し、明るい町づくりへの協力をお願いしました。又、月間中の活動として、小学校等にお花を生けて、いじめ・非行防止を呼びかけています。保護司と更女会が一体となり、犯罪や非行をなくし、罪を犯した人達の立ち直りを地域の中で見守り、地域のチカラで支えて行きたいと思っております。

ジャンプチーム、十和田湖町ライオンズクラブ、北里大学ボランティアなどの関係者での社明

十和田支部では、7月1日(土)午前11時より、奥入瀬ロマンパークフェスティバル会場にて、本運動を実施しました。当日は蒸し暑い中での活動でありましたが、めげずにメンバーで頑張りました。

この活動に参加した関係者は、十和田支部保護司会はもとよりジャンプチーム、十和田湖町ライオンズクラブ、ピコット十和田(北里大学ボランティア)などで、多くの団体関係者の協力により、賑やかさを増してきた会場を啓蒙パンフの配布とともに、非行のない社会づくりを呼びかけました。次々と来場する市民に呼びかける総勢60名のメンバーによる光景は、地域の安全と明るい社会を目指すんだとの意気込みを、のぼりの下に広く深化させる可能性を見たように思いました。又、毎年の社会を明るくする運動は、継続が肝要であることを大いに認識した日でもありました。運動の一端が根づくことを期待するものです。



更女会と連携、街頭活動も真剣に FMアップルウェーブによる運動も

7月2日(日)10時30分より弘前市民文化交流館ホール(ヒロロ4階)に総勢150名が集い、メッセージ伝達式及び決起大会が開催されました。参考者全員による「五つの誓い」を唱和し、誓いと使命を新たにしました。

総理大臣並びに県知事からのメッセージ伝達の後、活動発表には、地区の高嶋保護司が立ち、自らの体験を熱く語り参加者の共感を得ました。



アトラクションには、弘前大学アカペラサークルBEL(ベル)が登場し、女性5人が新旧を織り交ぜた天使の音色を披露し、和やかなひとときを過ごしました。

その後、弘前駅前(JR)と、イトヨ一力堂に分かれて、街頭活動を実施、更生保護女性会のメンバーも同行して、暑い時期に熱い活動を展開しました。



参加者に感銘を与えた作文コンクールの発表

犯罪・非行防止の一助として、当地区の全小学校(5校)中学校(3校)高等学校(2校)の全児童・生徒を対象に、更生保護女性会との共催で、朝のあいさつ運動とティッシュ配りを7月の夏休み前に実施しました。先生方も一緒に校門に立ち、活動に協力、学校との連携が更に深まった感がしました。



鰯ヶ沢町民総決起大会のパレード



犯罪・非行防止 朝のあいさつ運動と
ティッシュ配布

元気な声と明るい笑顔に心を癒された清々しい朝の活動でした。

また、深浦町町民総決起大会(6月21日)・鰯ヶ沢町町民総決起大会(7月12日)に参加し、会長から内閣総理大臣メッセージを伝達しました。昨年度“社会を明るくする運動”に応募した作文を男子中学生が発表し参加者に感銘を与えた。

パレードでは横断幕を掲げて、犯罪・非行防止を呼びかけました。

社明活動をとおして、当地区保護司会の協力体制が更に深まった気がしました。

八戸地区

種差海岸観光祭り、夏まつり花火大会、こども禅の集い、坐禅の会、夕涼みおとぎ会など多彩な活動。

三戸分会では、7月3日南部町本庁舎前で、内閣総理大臣ならびに青森県知事のメッセージが伝達されました。その後、雨のなか三戸町と田子町でメッセージが伝達され、それぞれの町をティッシュペーパー・うちわを配布しながら巡回しての啓発広報活動が行われました。それまで毎年行われてきた一龍斎貞花氏を招いての「講演と講談の会」は休止とし、7月12日開催された階上中学校での社明運動に参加するなど啓発活動を模索中です。

五戸分会では、7月13日五戸町役場前に引き続き新郷村役場前でのメッセージ伝達式が行われました。9日、専念寺境内の夕涼みおとぎ会では約40人の家族が楽しみました。8月1日五戸夏まつり花火大会でも広報活動が行われました。

八戸地区では、7月1日八戸市庁前広場でメッセージの伝達が行われた後、中心街でティッシュ・うちわを配布し、市長とジャンプチーム代表が防犯・非行防止の呼びかけを行いました。昨年から始まった種差海岸観光祭りでの広報活動。階上地区では、7月12日階上中学校でメッセージ伝達、町長の講演後、中学生と保護司との意見交換会。長流寺のこども禅の集い、浮木寺の坐禅の会、江陽地区おとぎ会も行われています。



三戸町でのメッセージ伝達



田子町でのメッセージ伝達



南部町でのティッシュペーパー・うちわを配布しながらの巡回

社明の市民集会は小中学生等総勢600名 小学5年生が1日保護司に、作文コンクール受賞作品発表も

7月6日(木)午前10時より、つがる市生涯学習センター「松の館」において第67回“社会を明るくする運動”市民集会が総勢600名の市民、小中学生、保護司会、更生保護女性会等が集い盛大に開催されました。

集会に先立ち、瑞穂小学校5年の古川大生君、封馬希実さんに1日保護司の辞令がつがる地区保護司会七戸会長から交付され、保護司会活動の普及、広報活動に協力を得、又市民集会では“誓いのことば”を力強く宣誓してくれました。

集会は市長の挨拶に始まり、内閣総理大臣からのメッセージを七戸会長、青森県知事からのメッセージを古川つがる警察署長が伝達しました。その後、昨年作文コンクールで青森県保護司会連合会長賞(なのはな賞)を得た瑞穂小学校6年福士古都さんの作文「犯罪・非行を

なくす方法」が発表されました。発表は本人が修学旅行で不在のため、あらかじめビデオで収録したものをプロジェクトで写すという初の試みでした。また、青森県警察音楽隊の見事な演奏やカラーガード隊による華麗なる演技が発表されました。集会は成功裏のうちに終わりました。当保護司会では今後とも、市内小・中学校との挨拶運動や作文コンクールの募集、その他関係機関との連携を図りながら、より一層社明運動の啓発、発展に寄与していくたいと思います。



つがる地区

更生保護のこころを伝える感動の映画

【予告】平成30年3月 青森市・八戸市・弘前市で上映決定!!



法務省後援

宮城県名取市に住む 保護司のドキュメンタリー

彼女は保護司となって、犯罪を犯しながらも立ち直り、新たな未来を目指して苦悩する子どもたちと向かい合うことになりました。その犯罪の根底にあるものが、又その更生を困難にさせているものが「地域社会と家庭の崩壊」にあることに気づき、全力でその更生を実現すべく長年努力を続けて来たのでした。そして、一人、また一人と、子どもたちが忘れていた笑顔を取り戻し、新たな未来へと果立っていました。

【弘前上映会】 日時 / 平成30年3月9日(金) 18:00 ~ 19:35
会場 / 弘前市総合学習センター 多目的ホール

【八戸上映会】 日時 / 平成30年3月10日(土) 未定
会場 / 八戸市公民館ホール

【青森上映会】 日時 / 平成30年3月11日(日) 14:30 ~ 16:10
会場 / アピオあおもり イベントホール

詳細が決まり次第
各地区よりご案内
致します。

〈前売り〉

◎大人・中学生以上 1,100円
◎小学生以下 800円

社会を明るくする運動 「第36回みんなのつどい」

更生保護女性会だより

青森地区更生保護女性会 副会長 塩原 誓子

7月23日リンクステーションホール青森で開催しました。本年も市民の皆様や関係団体のご理解とご支援をいただき心から御礼申し上げます。

みんなのつどいは地域の皆様に何か楽しいことで更生保護活動を知って頂きたいと言う主旨で芸能ショーを毎年7月に開催して参りました。

内容は更生保護女性会員の舞踊、歌、保育園児の鼓笛演奏、バレエ、ダンス、津軽民謡、三味線、手踊り等で、プロ歌手の方もノーギャラで出

演してくださるのです。また函館地区保護司会と更生保護女性会の出演もあり、青函交流の場となっております。市民の皆様には1枚500円の入場券を買っていただき、毎年楽しみにしていると言ってお出でください、とても感謝しております。今後も会員力を合わせて明るく楽しく続けて参りたいと思っておりますので御支援の程よろしくお願い申し上げます。



「青森県更生保護ネットワーク」 ホームページ運用開始

保護司会連合会だより

全国保護司連盟助成事業の「先駆的・モデル的事業活動に対する助成金」において東北地方からは、青森県保護司会連合会のホームページ開設に対して採用となり、運用公開に向けて制作を進めて参りました。保護司会連合会、更生保護協会、就労支援事業者機構が完成し運用を開始しています。その他の関係団体は順次作業し公開の予定です。

アドレス <http://www.ao-kousei.com>

青森県更生保護ネットワーク

もどらない。
もどさない。

7月は
“社明運動”
強調月間
と
“再犯防止”
啓発月間

私たちは、地域社会の一員として、里親や譲り受けた人の立場を尊重します。

青森県更生保護協会
青森県保護司会連合会
青森県更生保護委員会
青森県若力育成会企画事業
NPO法人青森市青少年団体
青森県精神疾患支援センター
青森県立看護専門学校
更生保護サポートセンター
法務省・保護司
保護司ガイド
青森保護院

次の方々から淨財が寄せられました。
厚く御礼申し上げます。 (敬称略)

(更)青森県更生保護協会 寄附者御芳名

〈平成29年4月1日～平成29年8月31日〉

- 〈10万円〉 中村 徹
- 〈5万円〉 社会福祉法人 内潟療護園
佐藤 玲恵子
- 〈4万円〉 黒瀧 信行
- 〈3万円〉 青森地区更生保護女性会 (みんなのつどい)
- 〈1万円〉 山田 泰仙・宮越 寛
古川 節子
- 〈5千円〉 三戸地区更生保護女性会

(更)あすなろ 寄附者御芳名

〈平成29年4月1日～平成29年8月31日〉

- 〈10万円〉 堀越 敏雄
- 〈5万円〉 八戸地区保護司会
三浦 順子
- 〈3万円〉 青森地区更生保護女性会 (みんなのつどい)
- 〈2万円〉 むつ地区更生保護女性会
五所川原地区更生保護女性会
八戸地区更生保護女性会
七戸地区更生保護女性会
橋本 敏子
- 〈1万円〉 野澤 壽代
- 〈物件寄附〉 三浦 順子
更生保護施設プラザあすなろの電話
設備無償更新 (567,000円相当)

(更)青森県更生保護協会 会員御芳名

〈平成29年4月1日～平成29年8月31日〉

- 【賛助会員】 〈8万円〉 株式会社 青森銀行
青森県火災共済協同組合
株式会社 みちのく銀行
- 〈1万円〉 株式会社 アクア

平成29年 春の叙勲・褒章 おめでとうございます (敬称略)

叙勲 【旭日双光章】

前田 洋子 (八戸・保護司) 母子福祉功労

叙勲 【瑞宝双光章】

富田 光子 (五所川原・保護司) 更生保護功労
新保 なり子 (鰺ヶ沢・更生保護女性会) 社会福祉功労

褒章 【藍綬褒章】

佐藤 武治 (青森・保護司) 更生保護功績

○退任保護司 長い間ありがとうございました。

（平成29年4月30日付け）	福田 浩 (八戸)
（平成29年6月15日付け）	柳田 光祥 (弘前)
（平成29年9月1日付け）	佐藤 孝希 (青森)
	中田 典正 (弘前)
	相澤 美保 (弘前)
	階上 友子 (八戸)
	工藤 茂雄 (八戸)
	黒瀧 恭一 (河内)
	小山田 順裕 (五所川原)
	松山 セツ子 (五所川原)

○新任保護司 今後の御活躍を期待します。

（平成29年9月2日付け）

對馬 博 (青森)	中村 徹 (青森)
高橋 修一 (青森)	織田 隆全 (青森)
高尾 和子 (青森)	有馬 敦子 (青森)
相馬 裕子 (弘前)	中村 寿仙 (弘前)
中田 博子 (弘前)	溝江 透 (八戸)
鈴木 金逸 (南黒)	松村 茂 (上十三)
附田 繁志 (野辺地)	花松 了覚 (野辺地)
天間 良一 (野辺地)	青山 一航 (野辺地)
掛端 正広 (むつ下北)	

○保護司の異動

（平成29年4月2日付け） 上田 亜沙美 (青森) 八戸保護区から転属

●敬弔

ここに生前の御功績を偲び、
謹んで哀悼の意を表します。

【保護司】

村上 柳子 (南黒) 平成29年7月7日御逝去

【更生保護法人青森県更生保護協会 監事】

佐藤 満廣 (平川市) 平成29年7月8日御逝去

大規模災害発生時における 安否確認について(お願い)

大規模災害時等には、連絡網が利用できないことが想定されます。安否確認のためにも、通信連絡が可能になった際に各保護司から所属の保護司会事務局又は保護観察所に御連絡いただくようお願い致します。また関係団体の皆様におかれましてもこれに準じた対応にてお願い致します。